鴻巣市 内水 ハザードマップ

Inland water hazard map

鴻巣市役所
住所：〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央１番１号　電話：048-541-1321 発行：令和７(2025)年８月

記入して マイ・タイムライン

家の マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、大雨や台風接近などにより、水害の危険性が高まっているときに、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおきましょう!

マイ・タイムライン作成例はこちら

家族構成	【例】父	名前	年齢

周囲の状況	【例】〇〇前の道路は冠水する/〇〇付近は倒木の可能性がある

経過時間	行政からの連絡	マイ・タイムライン
3日前(台風発生)	台風予報 警戒レベル1相当	事前にしておくことリスト ● ● ● ● ● ● ●
2日前	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2相当	
1日前	大雨警報 洪水警報	
	警戒レベル3 発令 高齢者等避難	避難するタイミングを記入しよう
	警戒レベル4 発令 避難指示	避難先を記入しておこう (屋内安全確保先も含めて複数の場所を想定しておこう) ● ● ● ● ● ● ●
	大雨特別警報	
0時間前	警戒レベル5 発令 緊急安全確保	逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

ポイント

事前の確認
- ・浸水する深さ(　　　)m・河川との距離(　　　)m
- ・最寄りの避難所(　　　)までの距離(　　　)mと時間(　　　)分
- ・ペットの避難に必要な準備と所要時間(　　　)

避難判断
【わが家の避難スイッチ】
警戒レベル(　　　)(　　　)で(　　　)する

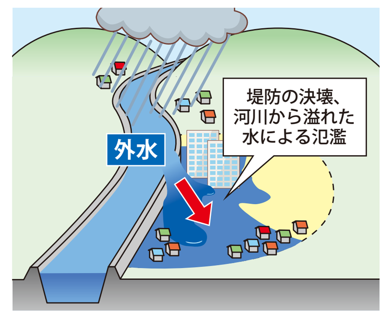
水害について

水害は地震よりも事前予報がしやすいので、比較的対策をたてやすい災害です。起こりうる水害を理解し、発令される情報に的確な判断をしましょう。

想定されている水害

外水氾濫

「外水」とは、堤防の間を流れる河川の水のことをいいます。
外水氾濫は、大雨などで河川の水位が増し、堤防の決壊や越流などで大量の水が市街地等に流れ込み、短時間で住宅などへ浸水して人的・物的被害を発生させます。

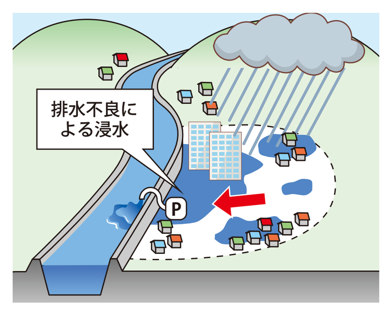


近くで大雨が降っていなくても、河川の上流域で大雨が降ると、下流の水位が上昇することがあります。

▶水害ハザードマップを確認しましょう

内水氾濫

河川の水を「外水」と呼ぶのに対し、市街地など堤防で守られた土地にある水のことを「内水」と呼びます。
下水道などの排水能力を超える大雨や、河川の水位が上昇することで「内水」が排水できず、マンホールなどから水が溢れて、土地や道路などに浸水することを「内水氾濫」といいます。

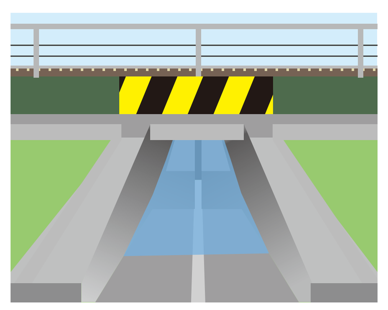


ゲリラ豪雨のような、局地的な大雨による内水氾濫は都市型水害の典型といえます。

内水ハザードマップの対象水害です

アンダーパス部の冠水

急激な大雨で、ポンプや排水路などの排水能力を超えた場合に、アンダーパス(道路や鉄道などの地下をくぐって抜ける道路で、周囲に比べて地面が低くなっている区間)が冠水することがあります。



アンダーパスが浸水している場所に車で進入すると、エンジンが停止して立ち往生してしまい、水没するなど大変危険です。

雨の降り方と雨量の関係

予報用語 1時間雨量(mm)	やや強い雨 10〜20mm	強い雨 20〜30mm	激しい雨 30〜50mm	非常に激しい雨 50〜80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車の運転は	―	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

気象情報・避難情報

水害から身を守るために、気象情報や避難情報を入手しましょう。気象情報で大雨や台風の予報やゲリラ豪雨などの情報を入手したら、信頼できる情報源から最新の情報を継続して入手し、避難へ備えましょう。

気象情報・避難情報の伝達経路

災害の情報はこのような経路でみなさんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネットで最新の情報を入手し、避難活動に役立てましょう。

- 避難情報・指示の流れ
- 気象情報の流れ

- 気象庁 → 気象庁ホームページ
- 国土交通省 関東地方整備局 → 国土交通省 ホームページ(川の防災情報)
- 埼玉県 → 埼玉県ホームページ
- 鴻巣市 災害対策本部 → 防災行政無線・緊急速報メール・広報車 / 鴻巣市ホームページ・SNS / 報道機関 テレビ・ラジオ等

市民のみなさん(パソコン・携帯電話などを使用して、最新の情報を入手するようにしましょう)

水害時に入手する情報

鴻巣市は様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行いますが、必ずしも気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。
自らの命は自ら守る意識を持って、気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

気象情報とは
台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

指定河川洪水情報とは
水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。発表基準は下記に掲載。

避難情報とは
避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。鴻巣市が発令します。市のホームページや防災行政無線などで確認しましょう。テレビやラジオ等の情報は、鴻巣市だけではなく、より広範囲な情報になります。

警戒レベル	危険度	気象情報等	指定河川洪水情報	避難情報等	とるべき行動
5	災害切迫	大雨特別警報	氾濫発生情報	緊急安全確保	●すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4までに必ず避難!					
4	危険	大雨警報 洪水警報	氾濫危険情報	避難指示	●速やかに避難を!!! ●浸水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。
3	警戒	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	高齢者等避難	●高齢者等は速やかに避難を。 ●浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、準備が整い次第、避難してください。
2	注意	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報		●ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
1		早期注意情報			○災害への心構えを高めます。

洪水情報の発表基準(令和7年現在)

警戒レベル	水位の名称	荒川水位(熊谷水位観測所)	利根川水位(八斗島水位観測所)	利根川水位(栗橋水位観測所)
4相当	氾濫危険水位	5.50m	4.10m	9.20m
3相当	避難判断水位	5.00m	3.10m	7.60m
2相当	氾濫注意水位	3.50m	1.90m	5.00m
1相当	水防団待機水位	3.00m	0.80m	2.70m

情報の入手・災害時の連絡方法

災害に対して適切に対応をするには、正確な情報の収集が必要です。テレビやラジオなど報道機関のほかに、ホームページやSNS、市役所からの呼びかけにも注意して、最新の情報を把握しましょう。

市が発信する情報を入手　避難指示や避難所開設など、鴻巣市の情報はこちらで入手しましょう。

鴻巣市公式ホームページ
https://www.city.kounosu.saitama.jp/
避難情報や避難所の開設状況など、市内を中心とする情報です。

鴻巣市防災行政無線放送メール配信サービス
(事前登録が必要です)
鴻巣市の防災行政無線で放送した内容をメールで受信できます。登録料は無料ですが通信料は利用者の負担となります。登録用ボタンを押すと届くメールに空メールを返信すると、登録完了メールが届きます。
フィーチャーフォン(ガラケー)　スマートフォン

Yahoo!防災速報
スマートフォン用「Yahoo!防災速報」をインストールし、アプリ内で鴻巣市を地点登録している方に各種情報(避難、ライフライン、災害時の注意喚起など)が配信されます。
iPhone向け　Android向け

鴻巣市公式X(旧ツイッター)
https://x.com/Konosu_city
名前：鴻巣市 ユーザー名(ID): @Konosu_city

防災行政無線
避難指示などの避難情報は防災行政無線で呼びかけます。音声を確認できなかった場合、市のホームページや鴻巣市防災行政無線放送メール、防災行政無線電話応答サービス(電話代がかかります: 048-542-2009)で確認できます。

緊急速報メール・エリアメール
事前登録は不要です。市内にいる方のNTTドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル、楽天モバイルの携帯電話、スマートフォンに、氾濫危険情報や氾濫発生情報など一部の災害情報が一斉配信されます。

鴻巣市公式LINEアカウント https://page.line.me/131geoaq?openQrModal=true　名前:鴻巣市　LINE ID:@konosu_city

公共機関などが発信する情報を入手

気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/
最新の気象情報や台風・大雨・土砂災害・竜巻に関する情報、今後の推移など。

国土交通省「川の防災情報」ホームページ
https://www.river.go.jp/
全国の水位や雨量、危険性が高まっている河川、洪水予報など。

埼玉県「防災情報メール」
(事前登録が必要です)
気象警報や地震などの防災情報をメールで受信できます。事前に登録が必要です。登録料は無料ですが通信料は利用者の負担となります。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/903-20091202-28.html

荒川上流河川事務所 https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/

利根川上流河川事務所 https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/

埼玉県防災ポータルサイト
https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/index.html
県内の避難情報や天候などの情報

ラジオ・テレビ・テレビのデータ放送
データ放送はテレビのリモコンのdボタンを押すと表示されます。震度や波の高さ、警報や注意報などのほか、災害や避難所の情報、交通やライフラインなどの一覧を見ることができます。

地域のメディアからも防災情報が得られます　テレビ埼玉、フラワーラジオ(FM76.7MHz)で鴻巣市の情報が得られます。

災害用伝言サービス　それぞれで登録された伝言を相互に確認できます。

NTT災害用伝言ダイヤル(171)
固定電話・IP電話・携帯電話から、伝言を録音・再生できます。録音時間は1伝言あたり30秒です。

登録：「171」をダイヤルして音声案内に従って「録音」を選択し、「伝言を残す電話番号」を入力する(録音は暗証番号の設定も可能)

確認：「171」をダイヤルして音声案内に従って「再生」を選択し、「伝言を確認したい電話番号」を入力する

NTT災害用伝言板(web171)
https://www.web171.jp/
携帯電話・スマートフォン・インターネットから、伝言を文字入力・確認できます。文字数は1伝言あたり100字以下です。

登録：「web171」にアクセスし、トップ画面で「伝言を残す電話番号」を入力して「登録」を選択し、伝言 を登録する

確認：「web171」にアクセスし、トップ画面で「伝言を確認したい電話番号」を入力して「確認」を選択する。

携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板
携帯電話各社(NTTドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル) の携帯電話から伝言を文字入力できます。

使い方：各携帯端末のトップ画面から「災害用伝言板」にアクセスし、画面の指示に従って操作をしてください。

情報の活用

災害発生時には速やかに適切な行動がとることが必要です。内水氾濫以外の災害に対しても公表されているハザードマップなどから正確な情報を入手し、それらと本ハザードマップの情報を活用できるように避難訓練に参加して準備しましょう。

他のハザードマップ

地震ハザードマップ
強い地震が起きた場合、どのくらいの被害がでるのかを予測したマップです。

揺れやすさ・液状化マップ
揺れやすさの分布、液状化がどの程度発生するかを示したマップです。

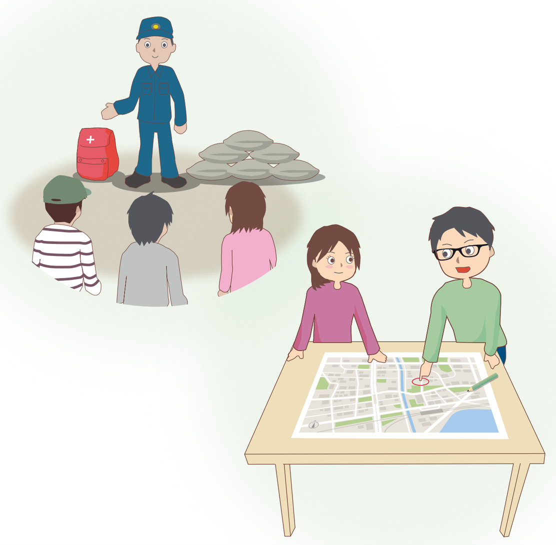
土砂災害ハザードマップ
土砂災害警戒区域における円滑な警戒避難を確保する上で必要な事項を記載したマップです。

水害ハザードマップ
外水氾濫を対象としたハザードマップです。

こうのとりっぷ
位置に関する様々な情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、地図上(Googleマップ)で視覚的に分かりやすく表現する地理情報提供システムです。防災に関する情報は以下の内容を確認することができます。
・水害ハザードマップ(各河川単位から合成版まで)　・各種避難所の位置情報
・指定緊急避難場所の位置情報　・土砂災害警戒区域　・消防署

避難訓練の参加

鴻巣市が主催する防災訓練は、自然災害等を想定した避難所の開設や災害対策本部の運営方法の確認を行う防災訓練と、市民のみなさんにも参加していただく総合防災訓練があります。また、お住まいの地域の自主防災組織が主催する、防災訓練があります。
防災訓練に参加し、災害時に速やかに適切な行動をとれるように、準備しましょう。



わが家の防災メモ

わが家の避難所	家族の連絡先 血液型や職場・学校の連絡先なども書いておきましょう。	その他の連絡先
わが家の集合場所		

水害時の避難行動

予想が可能な台風などは事前対策が行えますが、ゲリラ豪雨など突発的な災害では自分たちの判断が重要です。避難情報が発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に避難行動をとってください。

基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保

風水害での避難行動では、災害が発生する前に危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。
しかし、「立ち退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候などにより外出することが危険な場合は、「屋内安全確保」でいのちと身体を守りましょう。

避難情報などが発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に立ち退き避難を開始してください。

適切な避難先の確保(分散避難)

避難とは「難」を「避」けることです。風水害時は「立ち退き避難」が基本ですが、安全な場所にいる人まで「立ち退き避難」を行う必要はありません。また、避難先は市が指定する避難所だけでありません。さまざまな避難先を検討しましょう。

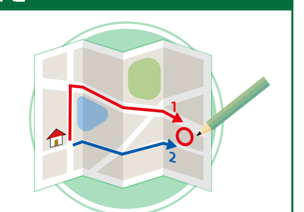
避難所以外の避難先(例)
●安全な場所にある親戚・知人宅やホテル
市外や他県など地域が異なる複数の場所を考えておきましょう。親戚・知人には日頃から相談しておきましょう。
●安全な場所での車中泊
豪雨時や夜間などは車での移動は危険です。事前にハザードマップで安全な場所か確認したうえで、さらに周囲の状況を十分確認してください。

市の避難所について
●多くの人が集まる避難所には、各種感染症への感染拡大のリスクがあります。マスク・消毒液・体温計など自ら携行して避難しましょう。
●市が指定する避難所などは変更・増設される場合があります。災害時などは市のホームページを確認してください。

避難する際の注意点

正確な情報収集と自主的避難
ラジオやテレビ・携帯電話を利用し、最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

安全な避難経路での避難を
あらかじめ、自分たちで避難先までの避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。



避難の呼びかけに注意
危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをします。
その場合には、速やかに避難してください。

水面下の危険にも注意
避難の際は、できる限り高さのある道路を通るようにしましょう。
浸水場所では、側溝やふたがはずれたマンホールなどに注意しましょう。

動きやすい服装で、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。
できる限り単独での避難は避け、近所で声をかけ合って避難しましょう。

避難の前に確認
避難する前に、ガス、電気、火の元を点検しましょう。避難先を確認し、途中で家族が離散したときの行動も決めておきましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡して、避難先を確認しましょう。

逃げ遅れたら高い建物に避難
万一、逃げ遅れて予定した避難先まで行く余裕が無い場合は、近くの丈夫な建物のできるだけ上の階に避難して救助を待ちましょう。(建物の２階部分でも場所によっては危険な場合があります)

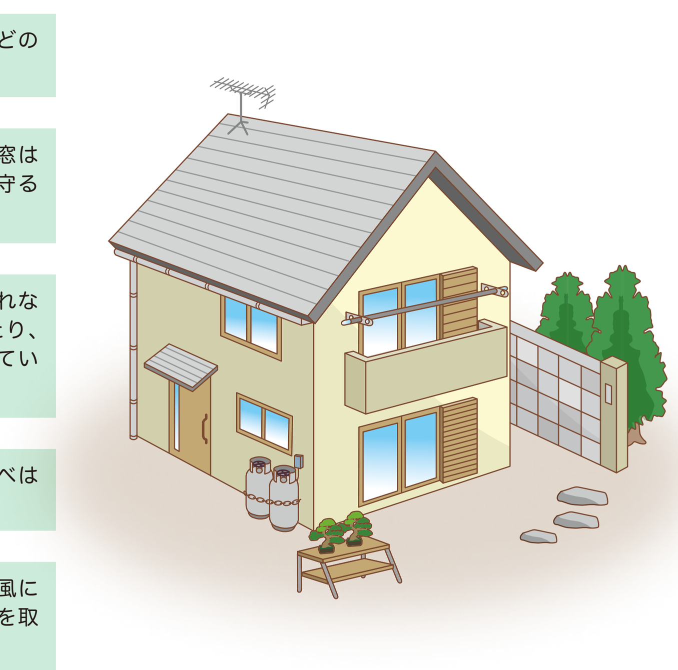
車での避難は避け、堤防に車を放置しない
車での避難は緊急車両の通行を妨げますので、特別の場合を除きやめましょう。
また、車を堤防や道路に放置すると、水防活動の妨げになりますので、やめましょう。

日頃の備え

いのちや財産を守るために、一人ひとり、あるいは家族が協力し、普段から備えておく必要があります。安全性をチェックし、補強や清掃を行っておきましょう。また、ライフラインが止まっても3日間程度(推奨7日間)自力で生活できるよう、備蓄をしておきましょう。

家屋の防災対策

- アンテナや煙突などの補強をする。
- 雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫をする。
- 壁や基礎にひび割れなどがないか。腐ったり、シロアリに食われている箇所はないか。
- プロパンガスボンベはしっかり固定する。
- 建物の周囲にある風に飛ばされそうな物を取り込む。



- 雨樋の掃除をする。
- 屋根瓦のずれなどを補修して飛ばされないようにする。
- ベランダなどの竿や小物を全て取り込む。手すりが壊れていたら修理する。
- 古い雨戸は、飛ばされないように筋交いをつけたり、つっかい棒をあてがったりして、応急の補強をする。
- 浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は2階や高い安全な場所に移動する。
- 近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃する。

非常用持ち出し品・備蓄品の準備

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。
非常用持ち出し品は必要最低限なものをリュックサックなどにまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。
備蓄品は、ライフラインが復旧するまで自給自足するのに必要な物です。保存状態や使用(賞味)期限などを定期的に点検・交換しましょう。
最低でも3日間(推奨7日間)必要な食料・物資を用意しましょう。

家庭環境に応じて、必要なものを用意しましょう。

● 乳幼児がいる家庭	ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつなど
● 妊婦がいる家庭	清浄綿、新生児用品、母子手帳など
● 要介護者がいる家庭	おむつ、障害者手帳、補助具などの予備、常備薬など
● ペットがいる家庭	ケージ、えさ、リードなど

非常用持ち出し品
- □ 飲料水、携帯食料
- □ 携帯電話、携帯電話の充電器(電池式)
- □ 現金(公衆電話用に10円硬貨)
- □ マスク、消毒液、体温計
- □ 上履き(スリッパ、靴下など)
- □ ごみ袋
- □ 身分証明書(免許証、パスポート、マイナンバーカードなど)
- □ 印鑑、クレジットカード
- □ タオル
- □ 薬・お薬手帳

埼玉県ホームページ「イツモ防災」防災マニュアルブック
備蓄方法や災害時のトイレ対策などが紹介されてますので参考にしてください。

備蓄品
飲料水　1日1人3リットル x 家族□人 x 3日=わが家では□リットルの水を用意

食料
- □ レトルト食品
- □ インスタント食品

調理器具
- □ ナイフ・缶切り
- □ 簡易食器・スプーン
- □ ラップ
- □ ビニール袋
- □ 燃料(卓上コンロ、固形燃料など)

救急用品
- □ 各種医薬品(常備薬も)
- □ はさみ
- □ ピンセット
- □ 救急ばんそうこう
- □ 包帯
- □ キズ薬
- □ 消毒液
- □ カット綿

衛生用品
- □ マスク
- □ ウェットティッシュ
- □ ティッシュ
- □ 歯磨き用具
- □ タオル

生活用品
- □ LEDランタン
- □ 携帯ラジオ
- □ 予備の電池、バッテリー
- □ ライター・マッチ
- □ マーカーペン・筆記具
- □ カイロ
- □ 布ガムテープ
- □ 軍手
- □ レジャーシート
- □ 笛(ホイッスル)
- □ ロープ

その他
- □ 上着類
- □ 下着類・靴下
- □ レインコート
- □ スニーカー
- □ 防災ずきん・ヘルメット